

アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法中に行われた焼灼療法の治療後 局所再発に寄与する因子の探索

1. 研究の対象

2021 年 5 月から 2025 年 12 月までに、焼灼療法（ラジオ波焼灼療法もしくはマイクロ波焼灼療法）を受けられた肝細胞癌の患者さん

2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2030 年 12 月 31 日

研究目的：焼灼療法はこれまで早期の肝細胞癌に対して行われてきましたが、切除不能肝細胞癌について、焼灼療法を免疫療法と併用することにより、予後が改善することが報告されています。焼灼療法後の局所再発は繰り返しの治療が必要となり、肝予備能が低下したり、悪性転化など予後に悪影響を及ぼす可能性があります。焼灼療法後の局所再発に寄与する因子は治療時の肝予備能や腫瘍マーカー、腫瘍のサイズなどが同定されていますが、免疫療法と併用して行われた焼灼療法については、局所再発に関係する因子はこれまで詳細な検討は行われていません。本研究では、焼灼療法を施行した患者さんを対象とし、免疫療法中に施行した焼灼療法の局所再発に寄与する因子を探索することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、抗がん剤治療の治療歴、併用治療（経カテーテル肝動脈化学塞栓療法や経皮的エタノール注入療法）の有無、画像検査、血液検査、合併症等の発生状況、カルテ番号等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 副部長 中堀 輔

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上